

【故・船井幸雄に捧ぐ】

【船井幸雄が永眠した】

船井総合研究所の創業者である船井幸雄（ふないゆきお）氏が八十一歳で亡くなった。船井氏といえば、経営コンサルタント、人生コンサルタントとして第一線で活躍され、多くの人達の生き方に多大な影響を与えてきた。氏は、上場企業から中小企業まで幅広くアドバイスをし、その企業の業績を伸ばし、しだいに「経営指導の神様」と呼ばれるまでになる。著書も多数出版しており、ご存じの方も多かるう。船井幸雄氏の存在は、多感な身延山の高校時代に最も影響を受けた中の一人に数えられる。

て取り組んできた事は『世の中の構造』や『人間の正しいあり方』を知るための研究だった。それらをよく知らないと顧問先に対して正しいアドバイスがでなかつた事が研究をはじめた最大の理由だそう。氏は、人間を徹底的に研究し、自らの論理で体系立てるまでになった。そんな彼に陶酔した私は、彼の教えから人間というものの本質、人生とは何かという事の一端を伺い知る事ができたのは、何物にも代え難い財産だったと感謝している。

船井氏に哀悼の意を表し、故・船井幸雄の教えを振り返って追善に代えさせて頂きたい。

まず私が、船井氏に対して興味を抱いた切っ掛けは、彼の人生に対する捉え方だった。まさに人間たるものの本質を突いていたからだ。船井氏いわく「この世ではなるべく健康で長生きし、出来るだけ勉強し、許し、奉仕するといった事が、人生の目的であり、正しい生き方の様に思う。人として生まれてきた理由は、より人間性を高めるため。また良い地球を創るために生まれてきたと言ってもよい。その為にはよく勉強し、プラス発想（前向きな考え方）をしてよく働き、世のため、人の

ため、他の動植物のために尽くすことが正しい生き方だと私は考える…」と。この発言からも分かる通り、船井氏は経営コンサルタントと言うよりも、一つの真理を掴んだ宗教者の雰囲気があり、自分なりの揺るぎない到達点を見据えている。船井氏の教えの代名詞は「**プラス思考・奉仕（利他）**」である。人間としての基本を教えてくれる。彼の教えを俗に「**フナイイズム**」と言って、人生の教科書にしている経営者も多い。

【フナイイズムとは？】

一、正しい理念・哲学を持つ…：激動の時代、不確実な時代だからこそ、正しい人間としての理念・哲学を持たなければならぬ。二、人としての力をつけよう…：人間力を公式で表すと《人間力＝才能×知識×経験×態度×心》。

三、他人を認め、自由を大切にし、責任を持つ…：力をつけるためには、第三者が認めてくれる環境、自由で責任を持って独自性を発揮できる場が必要。四、成功・幸せのための5条件を積極的に行う。★『**幸せの5条件**』…：①大きな夢とビジョンを持つ。②考えうる近い将来までの具体的達成目標と計画をもつ。③現在への全力投球。④もの

ごとをなるべくマクロ（広い視野）でつかむ。⑤会社、上司、部下、お客様、関連先の為に尽くす（利他）。【船井流、幸せになる方法】

幸せになる方法について、《あまり強いこだわりを持たないこと》だと示唆する。つまり、こうでなくちゃいけない、こうあるべき、この部分にこだわりたい、ここは譲れない等と思うと、それ以外の事では満足できず、幸せを感じられなくなるからそう。確かにそう思う。「これはいいよ」と言ってお薦めするのと、「こうでなければダメ」というのでは相手に与える印象が全然違ってくる。こだわりが強過ぎると冷たく感じるが、肩の力を抜くと、全てを「包み込む」様に温かい。

【人間関係七ヶ条の教え】

次に挙げる七ヶ条は、一人では生きていけない我々が、決して欠く事の出来ない他人との距離感について、その人間関係についての戒め的な教えで分かりやすい。①自慢しないこと。②自己主張を必要最低限にすること。③できるだけ他の者に自分を押し付けられないこと。④他人や他者を否定したり、悪口を言わないこと。

⑤他人の短所や欠点を指摘しないこと。⑥脅したり、他人や他の存在をいじめたり足を引っ張らないこと。⑦よほど世の中の為にならないこと以外については批判を慎むこと。

人間関係につまずいたり、悩んだり、自信を無くしてしまつた時には何回も読み返したい七ヶ条だ。

【本物人間?】

『本物（ほんもの）』という言葉は、船井氏の教えの中でも印象的に使われる言葉だ。

彼が考案した『本物人間のチェックリスト』なるものがある：①自慢しない、謙虚である。②否定しない、欠点を指摘しない。悪口を言わない。③自他を同じように見ることで、き、行動できる。④周りを蘇生化し、明るくさせ、楽しくさせる。⑤常にあらゆるモノから学んでいる。⑥不要なことはいらない。⑦シンプルである。⑧質素である。⑨与え好きである（他人に何かを与える事が幸せと感ぜられる）。⑩良心に従い生きていく。以上十項目をまとめて『あるがまま、成るがままの本物人間』を指すと呼び掛けていた。

【全ては必要必然】

船井氏の器の大きさを感じさせる考え方の一つが、過去の出来事を全て肯定できるところだ。《過去はオール善。全部必要、必然でベストだった。過去のことを語っても仕方がない。自分の事も含めて過去に興味はない》と断言している。頭で思っても、行動するのは難しいのが私達の常だが、船井氏の生き方や態度発言を見聞していると、本当に偏つたこだわりを感じさせるところが無く、体型もメガネをかけて小太りで、頭を丸めた風貌は、まさに空気のような雰囲気、その人柄に滲み出ているから素晴らしい。氏が本物人間を提唱するもうなずける。一つの悟りを得た人物の教えから学ぶものは多い。

また、『着眼大局、決断は着実、実行は前向きに』でない、ほとんどどんな事も成功しなかつたそうだ。

「全てが味方という発想をしよう・悪口や欠点を言わない・謙虚に生きよう・物的欲求を表に出さないようにしよう・他人を元気づけよう（神や仏の創造主は、私達人間が正しく生きていくと：①人相が良くなり↓②明るくなり↓③「ツキ（運が良い）」がつき↓

④健康になり↓⑤人や物を引き寄せられるようにしてくださる」と。

【故・船井幸雄を偲んで】

最後に、船井氏の人生哲学の根幹を記して、船井幸雄氏への追善に代えたいと思う。《①プラス発想をする（前向きに考える）：起こつたことは必要、必然そしてベスト（自分にとって最良の出来事）。自分に何かを気づかせるために天が与えたものだと思つこう。その何かとは、自分で考えシツカリと把握することが大切。それで運命も変わってくる。②徹底的に反省し、徹底的に感謝すること：並の反省や感謝では足りない。徹底的に行うのである。そうすれば謙虚になる。謙虚になれば衆知（たくさんの方の知恵）を集めることができるのである。③自分を励まし続ける。④社会と調和していること：独り善がりではダメ。⑤天命に従う》船井幸雄氏が一生を捧げて導き出した人生哲学は、時代や国や性別を超えた人類共通の教えともいえよう。故・船井幸雄に心からの敬意と感謝の意を込めて、ここに「冥福をお祈り致します。

合掌 副任職 谷川寛敬

♪「」招待

「」の星空を見せたくてV

WATARU

今年5回目となる堤谷亘さんのライブです。私と娘も、2、3曲踊らせて頂く予定です。

その他「あいの風ステッ21」「寺島和紀さん」「島崎昇さん」「いぶき」のみなさんです。

どうぞお誘い合わせてお出かけ下さい。入場無料ですが、チケットが御座いますので必要な方は仰つて下さい。

とき 二月二日（日）

開場 午後1時

開演 午後1時半

場所 黒部国際文化センター

コラーレ

マルチホール